

SEE.



20250327

スマートエコエナジー株式会社
学校法人工学院大学

4月から工学院大学全キャンパスの使用電力を実質再生可能エネルギー化 ～CO2 排出量を年間約 5,500 トン削減～

清水建設株式会社の 100%子会社である小売電気事業者スマートエコエナジー株式会社（社長 長澤幹央、以下 SEE.）と学校法人工学院大学（理事長 今村保忠）は 3 月 27 日、「オフサイトコーポレート PPA 契約」を締結しました。この契約に基づき、SEE. は 4 月から工学院大学の全キャンパスに再生可能エネルギーを供給、工学院大学では電力使用にともなう CO2 排出量が年間約 5,500 トン削減されます。

PPA は「Power Purchase Agreement」の略で長期・固定価格での電力購入契約、オフサイトは需要家、今回は工学院大学の敷地外の遠隔地から電力調達することをそれぞれ意味します。契約のスキームは、SEE. が 10 年間に亘り、清水建設所有の太陽光発電所（山梨県大月市）で創出する非 FIT 太陽光電力と非化石証書充当による実質再エネ電力を併せて年間約 1,400 万 kWh を調達・供給、工学院大学は新宿、八王子、附属中学校・高等学校の全キャンパスで消費する電力を再生可能エネルギーで補います。

大月市の非 FIT 太陽光発電所は、清水建設が東京都環境公社（クール・ネット東京）の助成金制度「小売電気事業者による再エネ電源先行拡大事業」を活用して建設したものです。SEE. はこの発電所が発電する太陽光電力を全量購入することで、低価格の再生可能エネルギーを工学院大学に提供します。引続き、オフサイトコーポレート PPA 契約の拡大を目指し、再生可能エネルギーの調達手段の多様化を図ります。

工学院大学は、建学の理念である「工の精神」のもと、環境に配慮した次世代を担うモノづくり人材の育成を目指しています。今回の再生可能エネルギーの全面導入については、大学の教育カリキュラム等にも活用していく予定です。さらには、こうした取り組みを通じ、持続可能なキャンパスづくりを推進するとともに、未来を見据えた脱炭素化と持続可能な社会の実現を目指してまいります。

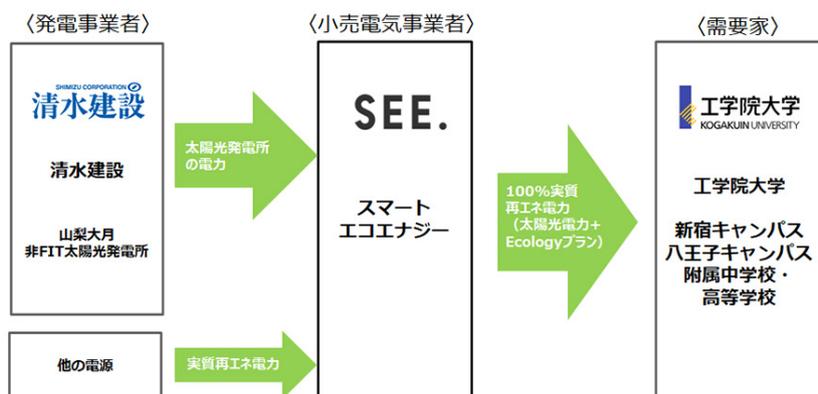
以上

お問い合わせ先

スマートエコエナジー株式会社
グリーン電力営業部 電話 03-3561-1295

学校法人工学院大学
総合企画部広報課 [問い合わせフォーム](#)

〈参考〉



本 PPA の適用対象物件

		
新宿キャンパス	八王子キャンパス	附属中学校・高等学校

発電所の概要



設置した設備の概要	太陽光 AC1,999.0kW DC3,514.68kW
設備の設置場所	山梨県大月市
設備の供給場所	東京都新宿区、東京都八王子市
設置目的	需要家への再エネ電気の供給